

評価対象課題の研究内容と評価結果（概要）

研究課題	3 岩手県における絶滅危惧植物を対象にした種の存続の技術開発に関する研究（R4-8）				
研究目的・背景	<p>岩手県は豊かで優れた自然環境に岩手県は豊かで優れた自然環境に恵まれており種々の希少植物が見られるが、近年、開発等による自然環境の消失や自然災害等により希少植物が絶滅する危機も生じている。</p> <p>そこで、いわてレッドデータブック（「いわて RDB」）に搭載されている希少植物から、特に現状で岩手県において生息数及び生息地が減少しており、保護の手立てが必要な絶滅危惧植物を対象に、種を存続させるための技術の開発を行う、また、希少植物の資源としての活用を模索し希少植物の保護 PR への活用を図る。その上で他機関からの絶滅危惧植物保護の要請や資源活用に関する指導依頼など、高度な要求に対応できる高い技術・実績を獲得するように取り組む。</p>				
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生息の危機に瀕している希少植物を優先しての生息域内保全の手法開発</li> <li>・絶滅が近々に危惧される希少種について、絶滅回避策の有効な手法となる生息域外保全（野生復帰）を行うための種子確保や苗生産に有効な技術開発</li> </ul>				
評価結果	<p>○総合評価 A（3人）・B（2人）・C（0人）<del>・D（1人）</del></p> <p>○総合意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅危惧植物保護は岩手県の環境を保全するための重要な研究課題である。一方で成果を出すための方法に不明確な点が見られる。他機関等とも連携し、よりよい方法を検討し進めて頂きたい。</li> <li>・絶滅危惧植物の保護は重要な課題であると思います。進めるにあたっては危険度の高いものを優先するか、ビジネスとしての価値（優先度）はどうか、戦略をもって実施すると良いと思います。</li> <li>・重要な課題であり、優先的に取り組んでいく必要があると認める。</li> <li>・大いに期待しております。</li> <li>・絶滅危惧植物の存続に向けた具体的な研究方針が示されており、成果が期待される。ムラサキの増殖はチャレンジングだが、技術革新的な可能性を秘めた項目と考える。</li> </ul>				
センターの対応方針	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">1 研究計画のとおり実施</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">2 一部見直しの上実施</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">3 今後再検討（計画再考）</td> <td style="vertical-align: top;">4 実施しない（中止）</td> </tr> </table> <p>本研究により、津波等による自然災害や工事の影響により、生息地の少なくなってしまった貴重な海浜性希少植物も対象として、その植物の生息域内保全及び域外保全の技術開発を進めていきたい。</p> <p>内陸部の希少種も含め、現地調査や研究を進めて行く過程で、関係機関と連携し対象を絞って行くこととしたい。</p>	1 研究計画のとおり実施	2 一部見直しの上実施	3 今後再検討（計画再考）	4 実施しない（中止）
1 研究計画のとおり実施	2 一部見直しの上実施				
3 今後再検討（計画再考）	4 実施しない（中止）				